



大分リース株式会社

Oita Lease Company Limited

営業のご案内



会社のプロフィール

大分リース株式会社は総合リース業を主な事業目的とし、大分銀行グループの1社として1975年4月設立以来、40年にわたり大分銀行と共に地域発展の一翼を担って参りました。

今日、グローバル化が急速に進展し、地域を主な営業基盤とする企業であっても経営のあり方に変革が求められている中、リース業務の役割はより一層大きくなっていくものと考えております。

当社のコーポレートメッセージ「人と企業の未来にジャンプ」には「リース業務によって皆様の事業の合理化・スリム化を応援し、共に輝かしい未来に向かって羽ばたこう」という願いを込めさせて頂いています。

今後ともなお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

行動指針

1. わたしたちは、自己啓発に努め、良質なサービスを通してお客様の信頼を得ます。
2. わたしたちは、環境の変化に対し、積極果敢に挑戦します。
3. わたしたちは、業務上の規律を守り、活力ある職場をつくります。

主な取扱商品

- ファイナンスリース
- 割賦販売
- オートリース
- 支払委託取引

ファイナンスリース

「所有」より「使用」することに重点を置いた設備投資の方法です。

リースとは、企業が設備を導入する場合に、自社で購入(所有)するのではなく、リース会社が購入した物件を賃借(使用)するシステムです。

リース取扱い商品



情報・通信機器

コンピューター、パソコン、ファックス複合機、電話関連機器など。



商業店舗設備

冷凍、冷蔵ショーケース、調理器、レジスター、厨房設備、包装機械、冷暖房設備、自動販売機など。



輸送用機器

各種自動車(乗用車、バス、トラック、バン)、荷役運搬機器車両、特殊車両、構内作業車、フォークリフト、コンテナなど。



医療研究機器

X線装置、歯科用機器、光学機器、脳波計、分析機器、計測機器、各種治療器など。



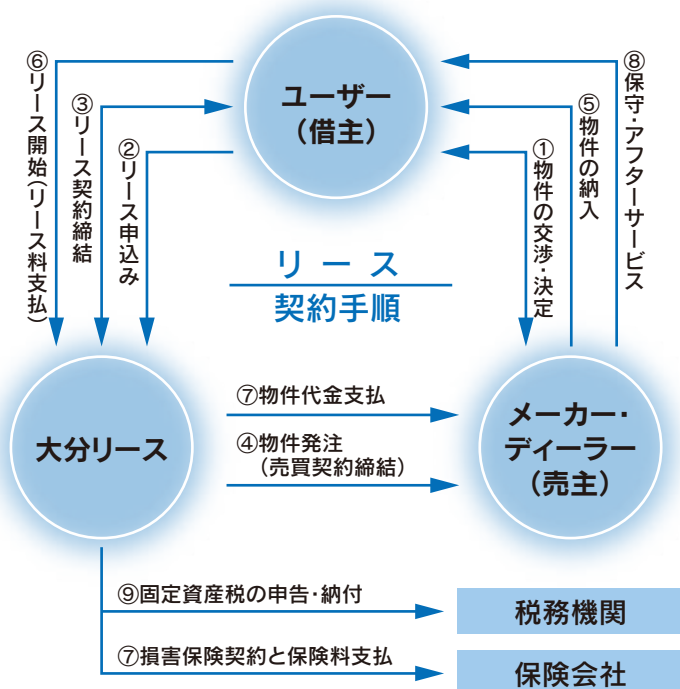
土木建設機械

ブルドーザー、パワーショベル、掘削機、各種クレーンなど。



その他

防災機器、洗車設備、省エネルギー機器、娯楽・レジャー関連機器、金属加工機材、産業用ロボット、太陽光発電設備など。



リースの信頼が、企業の合理化を実現します。

お客様がご希望する機械、設備等を大分リースが代わって購入し、それを月々一定のリース料でお貸しします。この仕組みは、下図の3者が信頼でしっかりと結ばれることによって、経営の合理化を推進、実現するものです。

■ リース料

リース料に代金のほか、金利、固定資産税、保険料、諸手数料が含まれます。なお、リース料は原則として、リース期間中、定額の月払いとなります。

■ リース期間

物件の性質や耐用年数に基づき、相談のうえ、決定されます。物件の法定耐用年数と適正リース期間との関係は下記の通りです。

法定耐用年数(年)	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
適正リース期間(年)	2	3	4	5	6	7	8					

※適正リース期間は、税法上毎月のリース料を全額損金処理できる最短リース期間です。

※リース契約は、リース期間中解約することができません。

リースのメリット



1. 資金を有効に運用できます。

機械設備などを導入する場合、多額の初期投資が必要となります。しかし、リースをご利用いただきますと、月々一定のリース料のお支払いで済み、余裕資金を他の緊急な資金利用や有利な投資、研究・開発にご活用いただけます。



2. 設備の管理事務が簡素化されます。

お客様が直接購入される場合、購入の手続き、固定資産税の申告・納付、保険料の支払い、物件の廃棄などの管理事務が必要です。リースをご利用いただくと、これらの事務手続きが不要となり、設備の管理事務負担を軽減できます。



3. リース料は経費で処理できます。

中小企業においては税法上、会社の経費として全額損金処理できます。また、月々一定リース料をお支払いいただくことで、機械設備の原価がはつきり認識でき、この点では全く手間がかかりません。



4. 機械設備の陳腐化がさけられます。

機械設備の陳腐化を考慮し、経済的な耐用年数に合わせたリース期間を設定することで、タイムリーに最新鋭の機械設備をご利用いただけます。



5. 金利変動リスクが回避できます。

原則、リース料は固定のため、月々のお支払い額が平準化でき、金利変動リスクが回避できます。



6. 予算制度のネックを解消できます。

予算の制約により機械設備を購入しにくい場合でも、リースなら容易に導入が可能です。一度に多額の資金を必要としないため、予算に合った形で無理なく機械設備を導入できます。



7. 100%別枠借入と同じです。

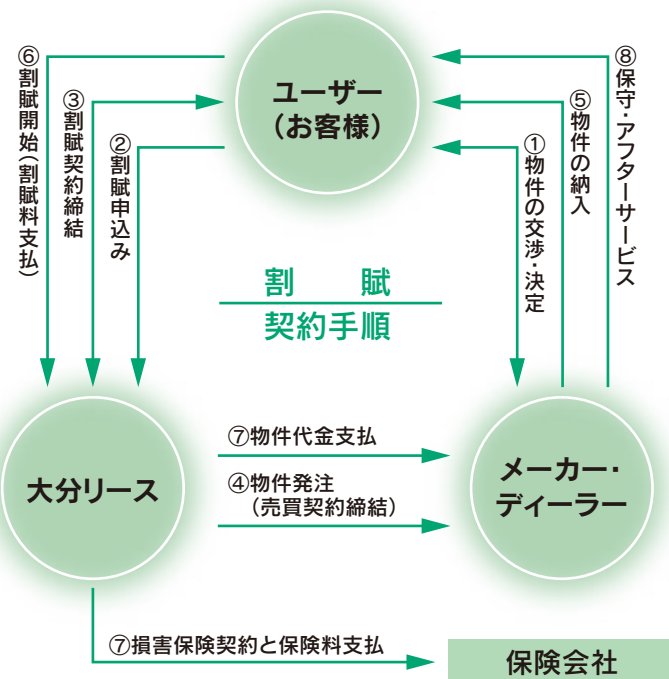
金融機関からの借入枠はそのまま温存できますので、100%別枠の資金として調達いただけます。

リースの特性

1. リースは原則として中途解約ができません
2. 物件の所有権が移転しません
3. 借入と比較して割高となります

※詳しくはHPをご覧ください。

割賦販売



割賦取引とは、お客様が希望される物件を、契約期間にあわせて分割払いにて販売し、契約終了後に物件はお客様の資産となる取引です。契約期間中の中途解約は禁止されており、契約額は物件価額や金利などの合計金額となります。物件の管理責任、管理事務(対象物件は貸借対照表に資産計上し、減価償却・支払利息・保険料を費用計上する)はお客様のご負担となります。

割賦販売期間

物件の耐用年数によらない契約で、支払期間の設定が自由にできます。ただし、割賦販売契約のスタート日の翌日から最終の賦払金の支払期日まで期間が2年以上必要です。

取引物件の範囲

リース取扱物件は、全て割賦販売の取扱対象となります。リース取扱ができない物件でも割賦販売では扱える物件があるなど、取扱物件の範囲に柔軟性があります。

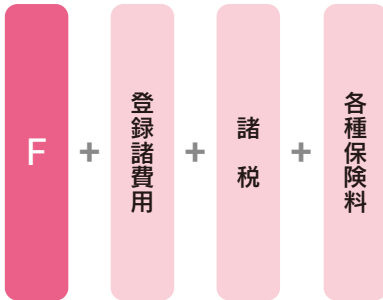
契約期間終了後

契約が満了すれば物件の所有権はお客様に移転するメリットもあります。

オートリース 〈ファイナンスリース・メンテナンスリース〉

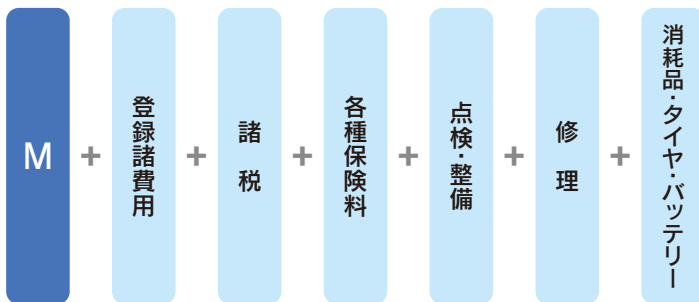
オートリースにはファイナンスリースとメンテナンスリースの2種類があります。

ファイナンスリース



- ①車両代金に、税金・保険関係費用のみをリース料に組入れ、車の**維持管理に要する費用は、ご利用者が負担**するリース方式です。
- ②当社の機能は、ご使用者の金融負担を肩代わりする点にあり、言葉をかえますと、金融的性格が強いリース方式です。
- ③まとまった購入資金も固定化しません。
- ④月々のリース料は全額損金扱いになります。

メンテナンスリース



- ①ファイナンス・リースに点検整備・一般修理・車検整備・事故修理など、車の**維持管理に伴う一切の費用を組入れた**リースです。
- ②別名サービスリースといわれ、企業の車両管理義務が大幅に省力化されることから、いまリース契約の大部分を占め、主流となっています。

それぞれのリースに含まれるサービス

サービス項目	ファイナンスリース	メンテナンスリース
車両・特別仕様・付属品	●	●
登録諸費用・取得税・自動車税・重量税の納付・支払い	●	●
自賠責保険の付保・支払い	●	●
任意保険の付保・支払い	●	●
車検、定期(法定)点検、スケジュール点検および故障修理		●
タイヤ・バッテリー・オイル・その他消耗品の交換		●
代車提供(車検や整備に48時間以上要する場合)※特殊車両をのぞく		●

オートリースのメリット・導入方法

MERIT. 1

財務面では…

- ・購入資金の調達が不要になります。
- ・資金の固定化を防ぎ、有効活用ができます。
- ・リースバックシステムを利用して、固定資産の流動化が図れます。
- ・車両資産をオフバランス化し、財務指標を向上させます。

MERIT. 2

経理面では…

- ・コスト管理が容易になります。
- ・経費の平準化が図れます。
- ・リース料が経費として処理できます。
- ・経理部門の多様な会計処理業務が大幅に軽減できます。

MERIT. 3

管理面では…

- そしてメンテナンス・リースの場合**
- ・車両管理業務が大幅に削減されます。
 - ・つねに整備された車両で、安全性と運転効率が向上します。
 - ・万一の事故にも、素早く適切なサポートが受けられます。



■ おすすめしたい企業

- 車両の保有台数が多く、広範囲に使用している企業。
- 車両の管理に手間のかかっている企業。
- 毎日の走行距離が比較的多い企業。
- 車両にかかる経費がつかみにくく、不明確になっている企業。
- 一台の車両を複数の人が交替で使っている企業。
- 車両の管理が現場まかせになっている企業。

オートリースの導入方法

①順次入れ替え方式 買い換え時または増車されるときに、順次リースに切り替えるシステムです。

②リースバック方式 保有されているすべての車両を買い取らせていただき、リースに切り替えるシステムです。

リースバック方式は、車両管理業務を一挙に合理化します。

MERIT. 1

車両管理業務を一挙に合理化できます。

新車に入れ替えるたびに順次リースしていくと、全車両がリースに切り替わるまでに数年かかります。その間リース車と自社所有車が混在し、二重管理となり、かえって業務が煩雑になります。この点、リースバックなら全車両が一挙にリース化され、すぐに合理化効果があらわれます。

MERIT. 2

スケジュール点検により安全面が向上。

修理費がダウンされ、又今までバラバラだったコストが一定化されます。スケジュール点検実施により、計画的な整備が導入でき、安全面も向上します。

MERIT. 3

買い取り代金を有効活用できます。

車両の買い取り代金は、弊社が一括してリースバック導入時にお客様へお支払いいたします。それによって、固定化していた資産の流動化が図れ、一時的な資金として有効にお使いいただくことができます。

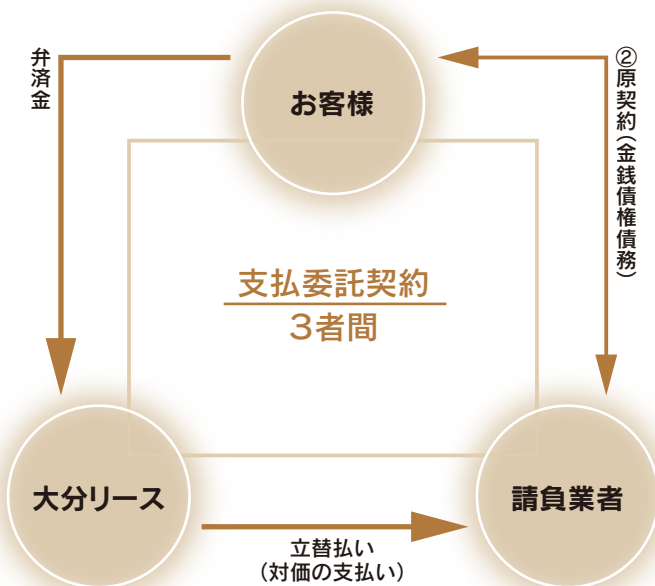
MERIT. 4

売却損が発生しません。

車両は、帳簿価格での買い取りを原則とさせていただきます。したがって売却損が発生いたしませんので、会計上の処理に影響を及ぼすことはありません。

支払委託取引

支払委託の仕組み



支払委託は、内装工事の工事費・ソフトウェア開発費など、リースや割賦の対象にならない金銭債務を対象とします。

お客様と請負業者間の契約(原契約)に基づくお客様が負担すべき金銭債務(対価)を、大分リースがお客様の代わりに請負業者に立替払いし、お客様から大分リースに分割弁済していただく取り組みです。

支払委託契約は、お客様・請負業者・大分リースの3者間で締結します。

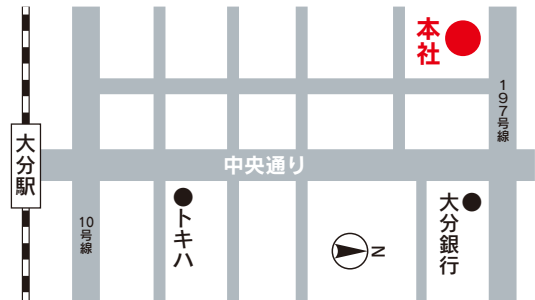
対価の支払い条件が整い、かつ対価の支払義務が確定したとき、お客様は大分リースに対し支払指図書を交付して、支払委託契約が開始します。

お客様の経理処理において、支払い金額のうちの利息部分は費用処理します。

元本部分は負債計上(長期未払い金、または買掛金)します。

実際の経理処理は必ずお客様の税理士・会計士にご確認ください。





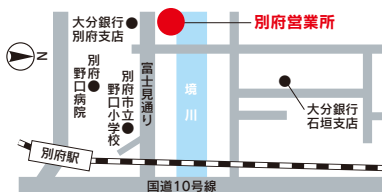
大分リース株式会社

〒870-0035
 大分市中央町2丁目9番22号(大分中央町ビルディング)
 TEL.097-533-1181 FAX.097-538-0241
 URL <http://www.oitalease.co.jp/>

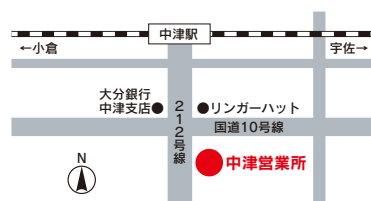
お客様のニーズに応えるべく、営業所一同お待ちしております。

大分リースをいつも最良の状態でお使いいただくために、本社及び6カ所の営業所を基盤に、きめ細かいサービス活動を展開しています。各商品のご用命、ご相談は最寄りの営業所にお気軽にお立ち寄りください。

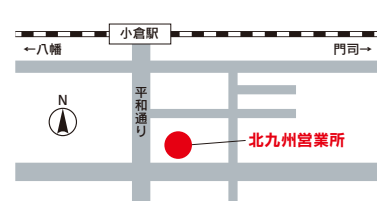
営業所のご案内



別府営業所
 〒874-0907
 別府市幸町2番3号
 TEL 0977-24-1828 FAX 0977-24-1987



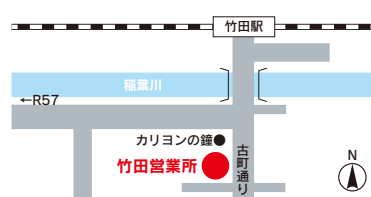
中津営業所
 〒871-0024
 中津市中央町1丁目1番53号 中津センタービル3F
 TEL 0979-24-3316 FAX 0979-22-3016



北九州営業所
 〒802-0003
 北九州市小倉北区米町1丁目1番21号
 TEL 093-541-3943 FAX 093-541-3951



日田営業所
 〒877-0016
 日田市三本松1-1-1 中央ビル2F
 TEL 0973-22-0021 FAX 0973-22-2593



竹田営業所
 〒878-0012
 竹田市大字竹田町574番地1
 TEL 0974-62-2615 FAX 0974-62-3365



佐伯営業所
 〒876-0803
 佐伯市駅前2丁目1番9号
 TEL 0972-24-2513 FAX 0972-24-2617